

Ⅶ. 新世紀ビジョン

(各学部・大学院・センターなど)

甲南大学には、伝統を礎に進化する5学部(文学部・理工学部・経済学部・法学部・経営学部)と先端的な特色教育を進める3学部(マネジメント創造学部・知能情報学部・フロンティアサイエンス学部)、先端研究を行う4研究科(人文科学研究科・自然科学研究科・社会科学研究科・フロンティアサイエンス研究科)、さらに、専門職大学院として法科大学院があります。また、共通教育を担う5つのセンターに加え、教育・学生生活支援、入試業務、研究推進・地域連携を担う部局が活動しています。これらすべての組織が甲南新世紀に向けた各々のビジョンを掲げ、その実現に取り組んでいきます。

文学部

- (1) 人文・社会にまたがる教育の伝統を継承・発展し、融合型リベラルアーツ教育のモデル学部になる。
- (2) 「正志く 強く 朗らかに」という変わらぬ精神に裏付けられた社会実践の力として、世界に通用する国際教養力、人文・社会の諸分野に関する知識と常識、自らの考えを適切な手段によって表現し伝える力、的確な問いをたてて問題解決をはかる意志と能力を育成する。
- (3) 甲南大学における人文・社会諸学の教育・研究拠点として国際的視野に立った研究を展開し、地域や社会に貢献する。



経済学部

- (1) どのような状況に直面しても、個性と天賦の才を十分活かすことで、必ず結果を出せる人材を多数輩出しているという定評を社会から得られる学部になる。
- (2) 経済学の素養にもとづき、経済・社会問題を的確に捉え、筋道を立てて考え抜くことで解決策を示すことのできる、知性と創造力を備えた人材を安定的に輩出できる学部になる。
- (3) 学生一人ひとりの個性を伸ばさせ、天賦の才を引き出すことができる、適切な学修支援体制を備えた学部となる。
- (4) 教育研究リソースを、地域連携や社会貢献に活かせる学部になる。



法学部

- (1) 国際社会および日本社会を過去から将来にわたって見通すことのできる専門知識、人権感覚にあふれた柔軟な思考力と批判精神、社会的弱者に共感できる豊かな心を持った社会人を育てる学部となる。
- (2) 社会的諸問題に対し、自ら思考し、人々とつながり、解決をめざすことのできる市民となりうる人を育てる。
- (3) 法学・政治学の研究において、それぞれの専門領域で質の高い研究を進めるとともに、専門領域を超えた総合的・総合的な研究にも取り組み、その成果の発信に励む。



経営学部

- (1) 関西の私立大学で最初に開設された経営学部として、伝統と革新の精神にもとづいた実践的な教育を通じ、KBA* (Key Business Ability)をファシリテートする学部となる。
- (2) 圧倒的の少人数教育による経営学・商学・会計学の学びを通じ、自律的洞察力およびグローバル対応力を持った社会に貢献するビジネス・パーソン、税理士・公認会計士を輩出する。
- (3) 実学に重点を置いた専門的なコースならびに企業との共同研究による学びを通じ、問題解決型のビジネス・リーダーを養成する。
- (4) 語学と簿記教育に重点を置き、会計に強くかつ国際的に活躍できる人材を育成する。
* KBA:発見する力、生み出す力、やりとげる力(discover、produce、accomplish)



マネジメント創造学部 (CUBE)

- (1) 徹底した少人数対話型教育により、「自ら学ぶ力」「共に学ぶ力」「自ら考え行動する力」を醸成し、学生が自らの知的成長を日々実感できる学部となる。
- (2) 経済学、経営学、英語の教育を同時に強化することで、英語で論理的に意見を述べる習慣が身につく、グローバルなビジネス環境に適応し、国際・地域社会の環境変化に応じた生き方を持続的に切り拓く力を備えた人材を育成する。
- (3) 教員と学生がキャンパス内外で「共に学ぶ」機会を増やすことで、社会貢献や研究成果の発信にも結びつける。また、教育・研究の活動において、学部が関係を持つ全ステークホルダーとの連携を大切に、自らを発展させていくことが評価される学部となる。



理工学部

- (1) 物理学、生物学、機能分子化学の各分野における国際的研究拠点を形成し、最先端の知見と先端機器および技術を教育に取り入れて、理論と実践のバランスのとれた教育(研究力に裏付けられた質の高い教育)を推進する学部となる。
- (2) サイエンス・ラーニングcommons(SLC)を核として、3学科の融合力により、入学前教育から高度専門教育まで連続した学修支援体制を構築し、自然科学の専門知識、問題解決能力および応用力を身につけ、社会のさまざまな分野で活躍できる人材を育成する。
- (3) 研究に対する安全性および研究倫理に関する素養をもち、大学院進学を志して創造性豊かで国際的な視野を持った研究者・技術者となる理系人材を輩出する。
- (4) 先端的研究を通して社会の発展に貢献するとともに、3学科の融合力により地域社会における科学技術情報の発信拠点としての役割を果たす。



知能情報学部

- (1) 時代の要請に対応できる「情報通信」「人間知」「機械知」に関して、高い技術力と応用力を持つユニークな IT 技術者を育てることのできる教育力を持つ学部になる。
- (2) コミュニケーション能力に優れ、主体的に様々な活動が行える人間力のある人材を育成する。
- (3) 魅力に溢れる「情報通信」「人間知」「機械知」の研究を行い、時代をリードする具体的な研究成果により、地域社会への貢献を強力に実践する。



フロンティアサイエンス学部 (FIRST)

- (1) バイオテクノロジー、ナノテクノロジーおよびそれらの融合領域であるナノバイオ分野において「Teaching から Learning へ」を徹し、また「医療産業都市構想」を担うポートアイランドの環境を活かし、授業以外の場での取り組み(Hidden Curriculum)を通して、「FIRST で学べば学生が伸びる」だけでなく、「FIRST で学べば人間的にも成長できる」と評価される学部になる。
- (2) FIRST ならではの特色ある施設であるマイラボを活用し、徹底した少人数教育を通して、生命化学分野を中心とした様々な分野において、自ら課題を発見し解決する「自力自学」と他者とともに協力して課題に取り組み研鑽をつむ「協力共学」する能力を身につけた人材を育成する。
- (3) 「教育効果を重視した研究」および「研究に先導された教育」にもとづいた研究力と教育力のスパイラルアップにより、ナノバイオ分野において世界で通用する研究成果を挙げ、地域社会ひいては世界に貢献する。

